39 美由喜タオル 株式会社

独自の「WHITE&NATURAL」製品

さまざまな素材を組み合わせ 求められる機能を実現

平成25年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

オーガニックコットンを使った 多重織の製品展開

■ 事業概要

オーガニックコットンは栽培に使われる農薬や肥料の基準を守って育てられた綿花で、その知名度が上がるにつれてより安全・安心な素材を求める消費者から、それを使った製品への問い合わせが増えている。しかし、一方でオーガニックコットンは品質にバラツキが見られ、多重織などの高度な技術を要する織物生産においては、特に不良品が多発する問題があった。補助事業を使ってその問題を克服し、オーガニックコットン製品事業の本格展開と全体の技術のスキルアップにつなげる。

補助金で導入したレピア式織機

課題

●品質のバラツキが大きなオーガニックコットンを織る際の不良品の発生率を低減し、コスト競争力を持たせる。

取組

●新しい織機を導入して、これまでの経験値をプログラム入力していった。

成果

●従来の織機では不良品の発生率が約10%あったが、これを約3%に軽減することができた。また、生産速度も約1.8倍に速くでき、生産効率が大幅に向上できた。

業務内容

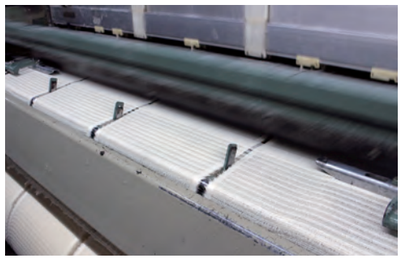
新素材を使ってタオルの可能性に挑戦

美由喜タオルは昭和41年、綿織布からタオル織物に特化して創業した。昭和60年頃まではジャカード先染め中心の生産だったが、現在の北浦照彦社長が入社してからは、その頃盛んだった紡績の新素材を使用した織物化に専念し、今日に至るまでタオル織物が持つ可能性に挑戦し続けている。

性能差のある素材を組み合わせ高付加価値化

平成になり海外からの安価な製品が市場を席捲し始め、当時泉州地域にまだ700社弱あった同業者数は、今日その1割強程度にまで減少した。そんな逆境の中、同社は積極的に綿以外の素材に挑戦し、120～180㎝までの仕上げ巾を持つ広巾タオル織物を受注する中で、性能差のある素材を組み合わせて高付加価値化に移行していった。

例えば、同社のスキンケアタオルシリーズには、牛乳タンパクを原料にしたフィラメント糸と多孔性のアクリルを組み合わせ、パイルに使用したものがあったり、保湿性に優れたレーヨンに天然のエモリエント成分などを練り込んだものがある。また、特に脂性肌の人には吸脂性の高い麻を使用し、織物の目を粗くして泡立ち・泡切れを良くしたもの。さらに肌に優しい絹をパイルにしたものや、キチン・キトサンを練り込み抗菌・防臭効果を持つアレルギー肌に優しい効果があるものなどがある。


織機から生み出される独自の製品

強みとビジョン

異素材を組み合わせた設計生産

美由喜タオルはもともと綿以外の素材を使用する経験が豊富で、タオルを地場産業にする泉州においても比較的少ない整経機での経糸の準備を得意とし、素材に合わせた織設計で織ることもできる。

また長年寝装分野に携わっており、タオル資材、タオルケット、タオルシーツなどの生産比率が高い特徴を持つ。さらに、近年多くなっているアトピー性皮膚炎などに適した素肌に優しいスキンケアタオル（浴用タオル）の開発などで得たノウハウを生かし、異素材を組み合わせた設計生産を得意にしている。

去年「miyukitowel」商標製品も発売

自社ブランド品も展開

新しいものへの挑戦は一貫しており、現在では綿以外の素材の使用比率は約3割だが、一時は5割を超えていた時もあった。約5年前に自社ブランド「WHITE&NATURAL」を立ち上げ、染色をしない、「本当の素材の良さを伝えることのできる、まるで素うどんのような」（北浦社長）タオルの開発・提案を行っているところだ。

製品は1枚ずつ入念に検品

肌に優しいタオルで困りごとを解消

タオルと言えば綿が当たり前とされていた時代から、綿以外の素材も使ったものづくりを行ってきました。肌に優しいタオルを追求してきたのは、私の子供2人が実際にアトピー性皮膚炎であったことも一つのきっかけとしてありました。たかがタオルではあるけれど、使う人の困りごとを少しでも解消できたときにやりがいを感じています。

●社　名　美由喜タオル 株式会社
●代表者　代表取締役社長　北浦 照彦
●住　所　〒598-0034 大阪府泉佐野市長滝1534番地
●TEL　072-465-5171　●FAX　072-466-3551
●資本金　10,000千円　●従業員　11名
<<< 代表取締役社長　北浦 照彦

https://www.big-advance.site/s/145/1493/

●主な取引先　三共生興アパレルファッション株式会社、東洋紡株式会社、株式会社マーナ、昭和西川株式会社、株式会社ロマンス小杉、ダイトウボウ株式会社
●主な保有設備　レピア織機、整経機、ワインダー、自動耳縫機、自動ヘム縫機、本縫ミシン、オーバーロックミシン、裁断機
●主力製品　タオルケット、タオルシーツ、ボディーウォッシュタオル。資材向けタオル織物

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

控え目に語る北浦社長ではあるが、タオルに対する“愛情”を強く感じさせられる。オーガニックコットンについてもその学びのために2年続けて渡米し、生産現場を見て回ったという。昔から変わらないタオルの形の中に、一見しただけでは分からないさまざまな素材を組み合わせた二層構造や三層構造のパイル地がある。私たちの肌に良い心地良さを生むこうしたノウハウはこれからもっとさまざまな分野に応用されるのではないだろうか。